


事業番号	05 03 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	医師確保対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医師・看護人材確保対策課
		実施期間	S47 ～	E-mail	ishikango@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	健康寿命				
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実		3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大		
	5-4 若者のライフデザインの希望実現				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【現状】 平成30年末現在の本県の医療施設従事医師数は、人口10万人当たり233.1人となっており、全国平均の246.7人を13.6人下回っている。 【目指す姿】 ○身近な地域で安心して医療を受けられるようにするために、医療機関に勤務する医師の絶対数の確保とともに、地域・診療科間における偏在解消を進める。 ○地方回帰の流れを捉え、即戦力医師の確保を図るとともに、医師の育成支援を進める。 成果目標：人口10万人当たり医療施設従事医師数 233.1人 (H30) ⇒ 243.2人 (R3) 【これまでの取組】 他県で活躍する医師への働きかけ、医学生等への資金の貸与、研修医向け説明会への参加 など										
	令和2年度点検結果 ・ 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 地方への移住を希望する大都市圏在住医師へのPR</td> <td>・ 地方回帰の流れを捉えた大都市圏からの医師確保体制の充実</td> </tr> <tr> <td>・ 修学資金貸与医師の適正配置</td> <td>・ 医師確保計画との整合性を図った適正な配置（医師少数区域への重点配置）</td> </tr> <tr> <td>・ 医師が働きやすい環境の整備</td> <td>・ 働き方改革も踏まえたライフステージに応じた支援</td> </tr> <tr> <td>・ 幅広い医療（新型コロナ対応を含む）を提供できる人材の不足</td> <td>・ 総合的な医療を行う医師の養成や新型コロナ患者対応を行える医師の確保</td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・ 地方への移住を希望する大都市圏在住医師へのPR	・ 地方回帰の流れを捉えた大都市圏からの医師確保体制の充実	・ 修学資金貸与医師の適正配置	・ 医師確保計画との整合性を図った適正な配置（医師少数区域への重点配置）	・ 医師が働きやすい環境の整備	・ 働き方改革も踏まえたライフステージに応じた支援	・ 幅広い医療（新型コロナ対応を含む）を提供できる人材の不足
課 題	今後の方向性										
・ 地方への移住を希望する大都市圏在住医師へのPR	・ 地方回帰の流れを捉えた大都市圏からの医師確保体制の充実										
・ 修学資金貸与医師の適正配置	・ 医師確保計画との整合性を図った適正な配置（医師少数区域への重点配置）										
・ 医師が働きやすい環境の整備	・ 働き方改革も踏まえたライフステージに応じた支援										
・ 幅広い医療（新型コロナ対応を含む）を提供できる人材の不足	・ 総合的な医療を行う医師の養成や新型コロナ患者対応を行える医師の確保										

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	✓ 地方回帰の流れを捉えた医師等の確保（拡充） <ul style="list-style-type: none"> ・ ドクターバンク（無料職業紹介事業） ・ 大都市圏での医療従事者移住相談会 等 	
	✓ 医学生等への資金の貸与 <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来県内の医療機関の医師として勤務しようとする医学生等に資金を貸与 	
	✓ 研修医向け合同説明会（一部オンライン）への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療を担う研修医を確保するための県内病院と医学生のマッチング機会の創出 	
	✓ 医療機関のチーム医療やICT等による勤務環境改善を支援（拡充） <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療スタッフの協働・連携によるチーム医療、ICT化の推進等による業務改善に係る経費を支援 	
	✓ 総合的な医療を行う医師等の養成・確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合診療専門医を取得し将来県内で勤務する医師に資金を貸与（新規） ・ 県外から移住する呼吸器内科の医師に資金を貸与（新規） 	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]					No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)		
			R1年度	R2年度								R3年度		
1	人口10万人当たり医師数	233.1人(H30末)	(未公表)	239.8人	↑	243.2人(R3末)					前年度繰越 当初予算 補正予算 合計(A) うち一般財源 決算額(B) 職員数(人)	687,760	698,194	要求 1,281,870 予算案 —
2										0		91,200		
3										687,760		789,394	要求 1,281,870 予算案 —	
4										492,057		486,789	要求 637,862 予算案 —	
5										625,199				
												9.8	10.3	10.8
成果指標設定理由	医師確保の状況全体を把握する指標として、医療機関で県民に医療を提供する医師の人口(10万人)当たり医師数を成果指標に設定(しあわせ信州創造プラン2.0目標値) (出所:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」) ※目標値:第7次保健医療計画における目標値達成のために令和3年度に必要な値													